

【ご参考資料】

2016年2月17日
野村アセットマネジメント株式会社

「野村未来トレンド発見ファンド」(愛称:先見の明) 基準価額の動きと今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年11月27日に設定しました「野村未来トレンド発見ファンド」(以下、ファンドといいます。)の基準価額は、世界の株式市場を取り巻く環境を背景に下落基調となりました。

以下に、基準価額の動きと運用の概要をご説明し、次ページ以降で今後の見通しについてご説明いたします。

1. ファンドの基準価額の推移

ファンドの基準価額は、昨年11月27日の設定以降、本年1月下旬にかけて、株式市場が世界的に調整局面を迎えたことを要因に下落基調で推移しました。特に2016年初以降は、原油価格の下落が世界経済を下押しする可能性が警戒されたことや、中国景気の先行きに対する不安感などによって、世界の株式市場はリスクオフ(投資リスクの回避)の状況となったことから下落し、これを要因に基準価額は1月後半に8,500円を下回る水準に下落しました。

その後、原油価格の反発や日銀のマイナス金利導入決定などを受けて米国を中心に世界の株式市場が上昇したことから、基準価額は上昇に転じ9,000円台となりました。しかし、足元では、原油安や世界的な景気鈍化懸念の強まりなどから世界の株式市場が下落し、米ドルおよびユーロに対する円高傾向が進んだことを背景に、基準価額は再び下落基調となりました。2月15日時点の基準価額は8,168円、設定来の騰落率は-18.3%となりました。

ファンドの基準価額の推移

期間:2015年11月27日(設定日)~2016年2月15日、日次



・初回決算日は、2016年11月14日となりますので、分配金実績はありません。

2016年2月15日現在
基準価額
8,168円

運用の概要(2016年2月12日現在)

前述の市場環境の中、ファンドは、成長テーマの関連銘柄への投資を基本とし、比較的安定的な成長が期待できる銘柄(主に大型株)や、好調な米国の消費に関連する銘柄などを中心にポートフォリオを構築しました。足元では、特に米国の中～低価格帯への消費に注目し、1月以降、ザ・ホーム・デポ(The Home Depot)やコストコ(Costco)などの銘柄を組み入れました。このような銘柄群に注目する背景は、雇用統計等が示す通り米国の勤労者層の収入が増加傾向にあることです。さらに、原油価格の下落は、米国の個人消費の改善につながると考えられます。

また、ファンドにおける現金の配分比率を9.2%(2016年1月29日現在)と高位に保ち、株式市場の下落による影響を少しでも軽減させることを考えた運用を行ないました。

上記は、選定した成長テーマに関する銘柄のご紹介を目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 —

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

2. 今後の見通し

*「今後の見通し」は2016年2月12日現在の内容であり、予告なく変更する場合があります。

ファンドの資産内容を国・地域別で見ると、米国への配分比率が69.2% (2016年1月29日現在)と最も高いため、米国企業の利益成長見通しと米国株への投資機会の観点からご説明いたします。

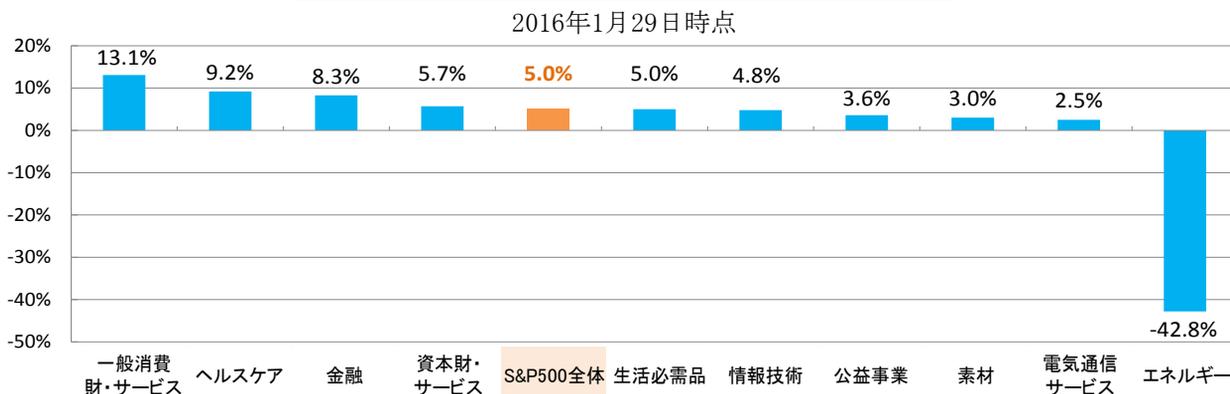
米国企業の利益成長見通し ～向こう1年は概ね増益基調～

米S&P500株価指数の構成銘柄(以下、S&P500企業)の2016年の利益成長率は、エネルギーセクターのみ大幅なマイナスが予想されていますが、その他の各セクターではプラスの成長率で、S&P500企業全体では5.0%の増益が予想されています(2016年1月29日時点)。これは、米国の潜在成長率(2.5%*)を上回る増益が予想されていることを示しています。

また、S&P500企業の1株当たり利益(四半期ベース)は、足元の2016年1-3月期を底に、今後増益が期待されており、現在が一番厳しい状況であると考えられます。

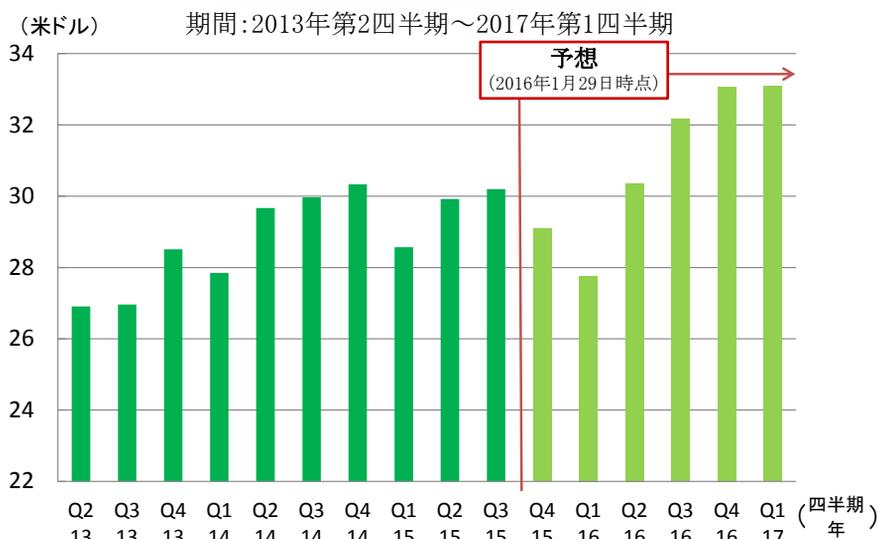
※OECD(経済協力開発機構)による2016年の成長率見通し(2015年11月時点)。

S&P500企業の2016年の予想利益成長率(セクター別)



(出所) FactSetによる予想。FactSetのデータより野村アセットマネジメント作成

S&P500企業の1株当たり利益の推移



(出所) FactSetによる予想。FactSetのデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

米国株への投資機会 ～割安感が出てきた米国株式市場～

昨年終盤頃からの米国の株式市場の下落は、中期的には投資妙味が見込まれる成長銘柄に割安な水準で投資できる機会にもなり得ます。米国株の予想PER(株価収益率)は、2016年1月には15倍台となっており、過去10年間の平均値と比較して割高感のない水準まで調整が進んでいると考えられます。

また、米国では中小型株の株価が大型株に劣後する状況が続いており(中小型株: -13.6%、大型株: -7.1%、いずれもファンド設定日(2015年11月27日)～2016年1月29日の騰落率)、中期的には高成長が期待できる中小型銘柄に割安な水準で投資する機会となり得る環境と考えています。

*上記の騰落率は、中小型株:Russell 2000指数(米ドルベース)、大型株:S&P500株価指数(米ドルベース)に基づきます。

高成長が期待できる銘柄には中小型株が比較的多く含まれ、これらの銘柄群は、中長期的な成長期待を維持しつつも、前述の通り市場環境がリスク回避的な姿勢である場合には、短期的に株価が大きく下落する傾向が見られます。実際に足元では、米国の中小型株の予想PERは、過去10年間の下限に近い水準となっており、割安な水準といえます。したがって、成長が期待できる中小型株の中でも、これまで割高感が強かったために投資を見送っていたものが、投資可能と判断できる水準に調整されてきているケースが増えていきます。これらの銘柄は、企業決算内容等の精査によってその成長性に変化がないか調査を継続し、組み入れのチャンスを狙っていきたくと考えています。

短期的には市場のリスクオフ(投資リスクの回避)の状況が継続すると思われそうですが、ファンドでは中期的な成長銘柄の発掘に注力しつつ、市場環境を考慮しながら、投資タイミングを慎重に見極めてまいります。

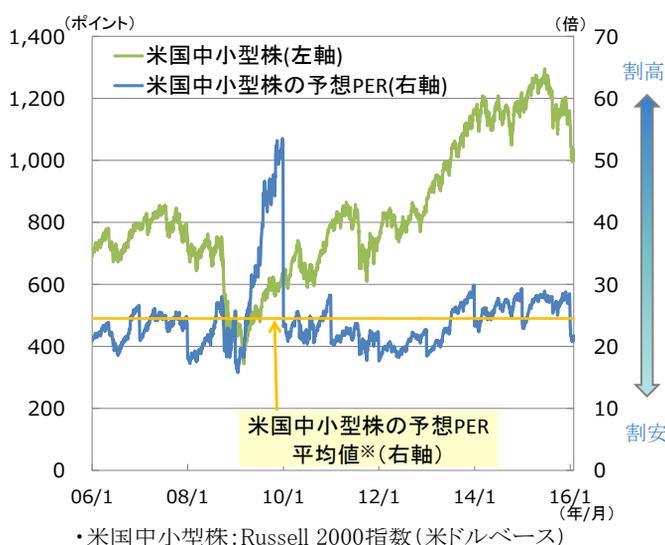
米国株の株価指数と予想PERの推移

期間:2006年1月2日～2016年1月29日、日々



米国中小型株の株価指数と予想PERの推移

期間:2006年1月2日～2016年1月29日、日々



※各掲載期間の平均値。

・PER(株価収益率) = 株価 ÷ 1株当たり利益(ブルームバーグの向こう12ヵ月予想利益に基づく)(出所)ブルームバーグのデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後とも、「野村未来トレンド発見ファンド」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

◀使用した市場指数について▶

- S&P500株価指数は、スタンダード・アンド・プアーズが公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されております。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーに帰属しております。
- Russell 2000指数は、ラッセル・インベストメント・グループが公表している指数で、その商標および知的財産権はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。「ラッセル」は、ラッセル・インベストメント・グループおよびその子会社の総称です。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の株式(DR(預託証券)^{※1}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。
※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
※2 「実質的な主要投資対象」とは、「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)ならびに不動産投資信託証券(REIT)および企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証券も含まれます。
- 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点で投資魅力のある中長期の成長テーマ[※]を複数選定し、関連する銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
※ 「新たな価値の創造」、「新興国へのトレンドの広まり」、「社会構造の変化」の観点から成長テーマの選定を行なうことを基本とします。
◆ 成長テーマは随時見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「グローバル・マルチテーマ マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 原則、毎年11月14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【投資リスク】

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 平成37年11月14日まで(平成27年11月27日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則、11月14日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金の各お申込みができません。
・ロンドン証券取引所 ・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年2月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.674%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは



野村ネット&コール

商号:野村証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
 加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人金融先物取引業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は



商号:野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。